

令和3年度

事業報告書



社会福祉法人富士市社会福祉協議会

目次

1. 概要.....	1
2. 会議開催状況.....	3
3. 事業実施状況.....	8
【広報啓発事業】	8
【地域福祉推進事業】	9
【生活支援体制整備事業】	13
【ボランティア活動育成事業】	14
【福祉相談事業】	21
【援護事業】	22
【共同募金運動】	24
【ユニバーサル就労支援センター相談支援グループ運営事業】	25
【貸付事業】	25
【日常生活自立支援事業】	26
【成年後見支援センター事業】	27
【法人後見事業】	28
【介護サービス事業】	28
【障害サービス事業】	30
【社会福祉センターの運営】	31
【生きがいデイ・健康づくりデイサービス事業】	32
【その他の事業】	33
【社協会費・寄附金の募集】	34

1. 概要

令和3年度は、8月20日から9月30日まで静岡県に緊急事態宣言が発出されたことや、年末から新型コロナウイルスの変異株であるオミクロン株が流行したことにより、計画した事業の中止や縮小など、事業執行に大きな影響を受けた一年となりました。

生活福祉資金の特例貸付も年度内の延長となり、申請件数は緊急小口資金が605件、総合支援資金が698件と新型コロナウイルスで経済的な影響を受けた方の多さを反映する結果となりました。

また、7月の大雨被害に際して設置した富士市初となる災害ボランティアセンターの運営や熱海市への被災地支援活動を通して、初動の重要性や日常的な関係機関との連携の必要性を学ぶとともに、福祉を軸にした地域づくりの大切さを再認識することができました。

以下、令和3年度事業計画における重点目標を中心に事業執行状況を報告いたします。

<令和3年度の重点目標>

1. 第5次地域福祉活動計画の策定
2. 生活支援体制整備事業の推進
3. 中核機関設置に向けた成年後見支援センターの機能強化と市民後見人個人受任の推進
4. ユニバーサル就労支援事業の相談体制の強化
5. 障害サービス事業所の計画的な施設整備への着手

1. 第5次地域福祉活動計画の策定

コロナ禍で策定作業を1年延期した「第5次地域福祉活動計画」は、地域福祉の将来像を「だれもが安心してともに暮らせる地域（まち）」とした市の地域福祉計画と基本理念や基本目標を共有しながら、市民や関係団体・機関の皆様の協力を得て各地区で策定のための会議を開催。また本会内では職員で構成される策定会議とワーキンググループで協議を重ね、その上で9つの基本施策を令和4年度からの5年間の重点施策として掲げた計画を策定しました。今後この計画の実現に向け、全力で取り組んでまいります。

2. 生活支援体制整備事業の推進

新型コロナウイルス感染拡大は本事業を進めるうえでも影響を及ぼし、各地区において当初予定していた事業を大幅に見直さざるを得ない状況が続きました。そのような中でも、富士見台地区では地域住民の手による生活支援活動拠点である『富士見台くらし支えあいセンター』が開所し、生活支援活動と居場所活動が開始されました。また、新たな取り組み手法の1つである『地域のお宝（ご近所同士の何気ない支えあい活動）さがし』についてモデル地区を設定し事業に着手。オンラインによる県外の先進地域との情報交換会

や研修に参加するとともに、モデル地区において講演会等を実施しました。

3. 中核機関設置に向けた成年後見支援センターの機能強化と市民後見人個人受任の推進

平成29年8月に市内初の市民後見人が選任されて以来、これまでに7名の市民後見人が誕生しています。令和3年度は新たに6名が市民後見人として家庭裁判所の選任を受け、計13名の市民後見人が順調に活動しています。市長申立を含む家庭裁判所に申立のあった案件を法人後見として受任し、市民後見人とのマッチング作業及び市民後見人支援機能としての監督業務も計画どおり推進することができました。

また、成年後見制度利用促進のための権利擁護ネットワークづくりと、制度利用者がメリットを感じられるような富士市独自の受任調整機能を関係機関とともに確立しました。

4. ユニバーサル就労支援事業の相談体制の強化

長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、生活に困窮している方からの相談に対応すべく、昨年度同様、相談員8名とすることで体制の強化を図り、相談者に寄り添った支援を行いました。

また、ユニバーサル就労支援センターの役割を周知し、早期の相談支援につなげるため、公共機関を始めスーパーやドラッグストア、まちの駅などに協力を依頼してチラシの設置箇所を新規に59箇所増やし、総数は165箇所となりました。

5. 障害サービス事業所の計画的な施設整備への着手

鷹身工芸社については、6月に県への補助金申請を行いました但现在地での建て替えが困難な状況となり、県・市の了解のもと、いったん申請を取り下げることとしました。建設計画は1年先送りとし、令和4年度に改めて補助金申請を行ってまいります。

また、ふじひろみに関しては、市有の建物を借りて移転の方向で、担当部局との調整を進めました。

その他、重点目標以外については、本会の基本理念を踏まえ職員行動指針をバランスよく実践できる人材の育成を目的とした、「富士市社会福祉協議会職員育成計画」を策定しました。この計画に基づき今後の職員育成に努めてまいります。

さらに、令和3年度を本会におけるコミュニティソーシャルワーク実践の元年と位置付け、日常のあらゆる困りごとや相談に応じるべく、社協内の各部署間や関係機関との連携を深めながら、チームアプローチで個別支援と地域支援に取り組みました。

以上、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、福祉の基本である人と人とのつながりを重視し、創意工夫しながら事業執行に努めました。

2. 会議開催状況

1. 理事会

	場 所	会 議 事 項
第 1 回 R3. 4. 9	フィナンセ東館 ボランティアルーム	議第 1 号 常務理事の選定について 議第 2 号 評議員選任委員の選任について
第 2 回 R3. 6. 10	フィナンセ東館 ボランティアルーム	議第 3 号 令和 2 年度事業報告について 議第 4 号 令和 2 年度決算について (監事監査報告について) 議第 5 号 令和 3 年度補正予算について (第 1 号) 議第 6 号 役員選任候補者の推薦について 議第 7 号 評議員選任候補者の推薦について 議第 8 号 評議員選任委員の選任について 議第 9 号 評議員選任委員会の招集について 議第 10 号 定時評議員会の招集について ○第 3 回理事会の招集手続きについて ○苦情解決第三者委員について ○地域福祉活動計画策定について ○社会福祉協議会会費依頼について
第 3 回 R3. 6. 25	フィナンセ東館 ボランティアルーム	議第 11 号 会長、副会長及び常務理事の選定について 議第 12 号 顧問の委嘱について ○成年後見等審査委員会委員について
(第 4 回) R3. 8. 31 決議	(書面開催)	議第 13 号 令和 3 年度富士市社会福祉協議会会長表彰及び 感謝状贈呈候補者について 議第 14 号 富士市高齢者地域支援窓口 (富士駅北地区) の 受託について
第 5 回 R3. 11. 26	フィナンセ東館 ボランティアルーム	報第 1 号 理事会の審議事項に係る書面議決の結果について 報第 2 号 会長及び常務理事職務執行状況報告 報第 3 号 令和 3 年度上半期事業会計監査実施報告 議第 15 号 令和 3 年度補正予算について (第 2 号) 議第 16 号 評議員会の招集について

(第6回) R4. 2. 4 決議	(書面開催)	○令和3年度歳末たすけあい運動について ○社会福祉協議会会費収納状況について ○赤い羽根共同募金収納状況について（中間報告） ○第41回市民福祉まつりについて ○富士見台くらし支え合いセンターの開所について 議第17号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会くらし・こども支援基金設置規程の制定について ○富士市社会福祉協議会第5次地域福祉活動計画について ○富士市社会福祉協議会職員育成計画について ○歳末たすけあい運動募金収納状況及び配分結果について ○令和4年度採用職員募集結果について
(第7回) R4. 3. 17 決議	(書面開催)	報第4号 理事会の審議事項に係る書面議決の結果について 議第18号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会職員給与規程の一部改正について 議第19号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会介護サービス室及び障害者就労支援施設職員給与規程の一部改正について 議第20号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会介護サービス室組織規程の一部改正について 議第21号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会障害サービス室組織規程の一部改正について 議第22号 令和3年度補正予算について（第3号） 議第23号 令和4年度事業計画について 議第24号 令和4年度予算について 議第25号 令和4年度役員賠償責任保険契約の締結について 議第26号 評議員会への提案について ○次年度の富士市成年後見支援センターの機能強化について ○鷹身工芸社の建替の進捗について

2. 評議員会

	場 所	会 議 事 項
定時 (第 1 回) R3. 6. 25	市文化会館 (ホール) 第 1 会議室	議第 1 号 令和 2 年度事業報告について 議第 2 号 令和 2 年度決算について (監事監査報告について) 議第 3 号 令和 3 年度補正予算について (第 1 号) 議第 4 号 役員の選任について ○第 5 次富士市社会福祉協議会地域福祉活動計画策定について ○社会福祉協議会会費依頼について
第 2 回 R3. 12. 15	市交流プラザ 会議室 1	報第 1 号 令和 3 年度上半期事業会計監査実施報告 議第 5 号 令和 3 年度補正予算について (第 2 号) ○富士市高齢者地域支援窓口(富士駅北地区)の受託について ○社会福祉協議会会費収納状況について ○赤い羽根共同募金収納状況について (中間報告) ○令和 3 年度歳末たすけあい運動について ○令和 4 年度採用職員の募集について ○7 月大雨被害に伴う「富士市災害ボランティアセンター」活動について ○第 4 1 回市民福祉まつりにについて
(第 3 回) R4. 3. 28 決議	(書面開催)	議第 6 号 令和 3 年度補正予算について (第 3 号) 議第 7 号 令和 4 年度事業計画について 議第 8 号 令和 4 年度予算について ○富士市社会福祉協議会第 5 次地域福祉活動計画について ○富士市社会福祉協議会職員育成計画について

3. 評議員選任委員会

	場 所	会 議 事 項
R3. 6. 17	フィナンセ東館 社協相談室	議第 1 号 評議員の選任について

4. 監 査

	場 所	会 議 事 項
R3. 5. 28	フィナンセ東館 育児研修室	○令和2年度決算会計及び業務監査
R3. 11. 16	フィナンセ東館 育児研修室	○令和3年度上半期会計及び業務監査

5. 共同募金委員会

	場 所	会 議 事 項
R3. 8. 31 決議	(書面開催)	○富士市共同募金委員会会則の制定について ○富士市共同募金委員会正副会長の互選について ○令和3年度赤い羽根募金実施計画について ○令和3年度歳末たすけあい運動実施計画について ○街頭募金について

6. 苦情解決第三者委員会

	場 所	会 議 事 項
R3. 8. 31	(書面開催)	○本年度苦情解決体制について ○令和2年度の苦情概要報告

7. 正副会長会

	場 所	会 議 事 項
第1回 R3. 6. 7	フィナンセ東館 ボランティアルーム	○第2回理事会について ○6月以降の会議日程について ○富士市社協職員人材育成計画策定について(中間報告)
第2回 R3. 8. 24	フィナンセ東館 相談室1・2	○第4回理事会及び共同募金委員会について ○11月以降の会議日程について
第3回 R3. 11. 22	フィナンセ東館 ボランティアルーム	○第5回理事会について ○12月以降の会議等日程について

第4回 R4. 1. 25	フィナンセ東館 ボランティアルーム	○第6回理事会について ○鷹身工芸社建替の進捗について ○2月以降の会議等日程について
第5回 R4. 3. 11	フィナンセ東館 ボランティアルーム	○第7回理事会について ○4月以降の会議等日程について

3. 事業実施状況

【広報啓発事業】

(1) 富士市社会福祉大会

社会福祉功労者に対し、表彰状及び感謝状の授与式をロゼシアターで開催した。

- ・開催日 11月5日(金)
- ・開催場所 ロゼシアター 中ホール
- ・内容 表彰式 被表彰者等 113人



式典



表彰式

(2) 社協の広報活動

市民に広く社協への理解をいただくため、また、事業等で社協を活用していただくため、全戸に広報紙「お元気ですか」を配布すると共に、ウェブサイトの充実を図り、さらに市内のコミュニティーエフエム（ラジオエフ）の放送に社協役職員やボランティアが出演、また、社協への寄附や事業実施時等に報道メディアへの情報提供を積極的に実施するなど、様々な広報啓発活動を行った。

①広報紙『お元気ですか』の発行

会員である市民に対し、読みやすく分かりやすい福祉情報を発信すると共に、社協への理解を高めるために年3回発行した。併せて間違いさがしのコーナーへの応募時に福祉に関するアンケートに答えていただき、市民の福祉に関する実情や動向の把握に努めた。

- ・5／20号 少子高齢・コロナ禍の市民生活を支援します！ 他
『あれっ？どこかがちがうぞ！？』 応募数 194通
- ・9／20号 須津・浮島地区の大雨被害による災害ボランティアセンターの活動報告 他
『あれっ？どこかがちがうぞ！？』 応募数 267通
- ・新年号 お宝さがし～かけがえのない地域の繋がり～ 他
『あれっ？どこかがちがうぞ！？』 応募数 400通

広告協賛企業（敬称略）

ロゼ にじいろクリニック（医療法人財団新六会）	3 回
小松クリニック（医療法人社団青葉会）	3 回

②ラジオエフの活用

月 1 回（最終水曜日）放送の「はあとふるトーク」に役職員、地域住民、ボランティア等が年間 1 2 回出演し、社協事業の P R に努めた。また、災害時の連携を視野に入れた防災パートナーズポット C M を毎月 1 回実施。その他、随時社協事業の広報媒体として協力を求め活用をした。

③ウェブサイトの充実

I C T（情報伝達技術）時代に応じた見やすいサイトを追求するとともに、わかりやすい福祉情報の発信に努めた。また、速報性の高い情報に関しては随時更新を行った。

④報道メディアへの情報提供を通じた事業等の周知

報道メディアに社協や福祉推進会等の事業及び社協への寄附等の情報を積極的に提供し、紙面や報道を通じて事業等の周知を行った。

（３）市民福祉まつり

ノーマライゼーションの理念に基づき、すべての人が交流やふれあいを通じ、

「福祉の理解」を深めることを目的とし、令和 3 年度は動画配信・パネル展示・

自由投稿を開催した。本会は、このまつりの実行委員会の事務局を担っている。

①市民福祉まつり実行委員会の開催

開催回数：8 回（6／16、7／14、9／15、10／6、11／17、
12／15、1／19、3／22）

内容：今年度と今後の市民福祉まつりのあり方について

主催：市民福祉まつり実行委員会

【地域福祉推進事業】

（１）地区福祉推進会

①地区福祉推進会の活動支援

「だれもが住みなれた地域で、いつまでも安心して暮らすことのできる福祉のまちづくり」を目指し、市内 26 地区に地区担当職員（コミュニティソーシャルワーカー）を配置し、その地区に必要な資源開発・育成を行い、支え合い助け合いのまちづくりを地域住民の皆さんと共に実施した。また、各地区の実情に合わせ新しい生活様式に即した事業活動を実施した。

②地区福祉推進会連絡会の活動支援

各地区福祉推進会の事業活性化のため、各地区で実施されている新しい生活様式に即した活動について情報収集と各地区への発信を行った。また、感染防止措置を講じる等工夫しながら開催しているサロン等の情報提供をし、各地域での繋がりづくりを推進した。

<正副会長会議>

- 5月14日（金） 令和3年度の事業・研修会について
コミュニティソーシャルワークの実践について
- 11月25日（水） 第5次地域福祉活動計画策定に関する進捗について
地区福祉推進会助成金について
- 3月15日（火） 第5次地域福祉活動計画について
令和4年度富士市地区福祉推進会連絡会について

<全体事業>

- 6月18日（金） 富士市地区福祉推進会連絡会
事業報告及び事業計画
コミュニティソーシャルワークの実践について
社協助成金について

③見守り・生活支援活動の実施（小地域福祉ネットワーク事業）

各地区及び各地域の中で、要援護者に対し見守り活動を展開し、安否を確認した。

- <富士南地区> 小中学生を見守る毎日の防犯パトロールを実施
- <吉永地区> 近隣の方（ひとこえ会）が日常的な安否確認を実施
- <岩松地区> 近隣の方（みまもり隊）が日常的なこえかけを実施
- <富士駅南地区> 住民福祉ネットワークで高齢者宅を誕生月等に訪問
「地域支え合いマップ」の作成
- <富士駅北地区> 近隣の方（見守り協力者）が日常的な安否確認を実施
- <富士北地区> 近隣の方（こえかけボランティア）が日常的なこえかけを実施
- <大淵地区> 回覧版を手渡しで行い、安否確認を実施
生活上の困りごと対応 「城山町お助け隊」支援
- <原田地区> 地区民生委員と推進会委員で見守りが必要な世帯に
年2回訪問。その後は、推進会委員による見守りを実施。
地区定例会ごとに状況報告を行っている。

(2) ふれあい・いきいきサロンの推進

ふれあい・いきいきサロンは、日常生活の基盤である地域社会において、高齢者や障がい者の孤独感等の解消並びに介護予防を目的とした組織。ふれあい・いきいきサロンを地域住民が自主的・自発的に取り組み、地域にとけ込んだふれあいと見守りの場となりえるよう支援した。コロナ禍でも工夫して取り組めるように、集合に限定せず、訪問、手紙、電話なども取り入れながら、繋がりを保てるように、サロンの幅を広げた。

- ・対 象 家に閉じこもりがちな高齢者・障がい者等
- ・利用料 無料
- ・開設数 151カ所 (3月31日現在、休止中を除く)
- ・全サロン対象アンケート 8月実施

市内全サロンを対象とし、コロナ禍でのサロン活動に関するアンケートを実施。結果を全サロンに提供。

(3) こども食堂への補助

子どもたちが放課後等に食事や学習、地域交流を通じて安心して過ごせる居場所であるこども食堂への支援を実施したが、助成金の申請はなかった。子ども食堂への関わりを通じて子どもを孤立させない地域づくりを支援した。

(4) 未就園児等安否確認支援事業

こども家庭課が行う未就園児等の家庭（富士市に在住する未就園児等のいる世帯で、こども家庭課が訪問する必要があると判断した世帯）訪問の際に、障害者就労支援事業所の製品を提供することで、児童の安否確認及び生活課題の早期発見が円滑に行えるよう支援することを目的に実施。

- ・令和3年10月～令和4年1月 ラスク160個、クッキー160個を提供

(5) さわやかコール事業

ひとり暮らし高齢者の安否確認を目的に、民生委員児童委員を通じて申し込みをおこない、配達員がひと声かけながら乳酸菌飲料（ヤクルト）を宅配するサービスを実施。声かけ時に応答がないなど安否が確認できなかった際には、担当の民生委員児童委員や緊急連絡先等に確認をしたほか、必要に応じて職員が訪問し安否確認を行った。

- ・委託先 中央静岡ヤクルト販売㈱
- ・訪問日 週3回が基本

(6) 地域活動団体への助成

・地域福祉活動費（町内会）助成	2, 6 0 8, 3 8 1 円
・民生委員児童委員活動実費弁償費助成	4 3 4, 0 0 0 円
・民生委員児童委員協議会活動費助成	3 0 0, 0 0 0 円
・女性ネットワーク富士活動費助成	1 0 0, 0 0 0 円
・人権擁護委員会助成	7 0, 0 0 0 円

(7) 第5次地域福祉活動計画の策定

「だれもが安心してともに暮らせる地域（まち）」の実現を目指して、市の地域福祉計画と一体的に、地域住民及び関係機関・団体の協力を得て、地域福祉推進に取り組むための実践計画と位置づけ、各地区版策定会議及び事務局職員ワーキング等を中心に第5次地域福祉活動計画（令和4～8年度）を策定した。

(8) コミュニティソーシャルワークの実践

日常のあらゆる困りごとや相談に応じ、個別支援と地域支援を統合的に展開するコミュニティソーシャルワークの具体的な実践のため、地区担当者を支援し共に活動に取り組む圏域担当を配置し、地区担当者と情報共有を図りながら相談対応や支援に取り組んだ。また支援にあたっては、市内の各機関や専門職と連携し、チームアプローチでの支援を実践した。

- ・相談件数 89件

相談内容の内訳（複数回答）

相談内容	件数	相談内容	件数
孤立	23	高齢者（見守り）	8
困窮	18	ボランティア	6
高齢者（介護）	13	高齢者（認知）	6
障がい	12	子ども	4
家族関係	12	財産管理	3
地域トラブル	11	外国籍	2
就労	8	判断能力	1
メンタル	8	その他	13

（９）生活困窮世帯学習支援応援事業

生活支援課が実施する「富士市こどもの学習・生活支援事業」で行う企画イベントを通じて参加者に食品や物品を支給することにより、こどもの学習意欲の向上を図ることを目的に実施。

- ・第１回（秋期講習） 令和３年１０月３０日（土）
ネームホルダーとマスクケース、菓子の詰め合わせを提供
- ・第２回（冬期講習） 令和３年１２月２７日（月）
バスボムと板ラスク、ミニ食パンの詰め合わせ、バンダナを提供
- ・第３回（面接練習） 令和４年 １月１８日（火）
金のわらじストラップとスノーボール、トールペイントマグネットの詰め合わせを提供

【生活支援体制整備事業】

（１）第１層生活支援コーディネーター業務の推進

生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくことを目的に、富士市より※第１層コーディネーター業務を受託し、市全域で支え合い・助け合い活動が広がるよう基盤整備と関係機関ネットワークの構築などを行った。また、新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、今年度も市民対象の講演会ではなく関係者向けの研修会を計画したが感染の再拡大を受け開催を中止した。

- ・第１層協議体会議
 - ６月 書面開催 関係者向け生活支援体制整備事業研修会について
天間地区における活動状況の報告
 - １１月 １日（月） 「お宝さがし」モデル地区（今泉）の実施状況について
グループワーク
 - １月１７日（月） 生活支援体制整備事業と地域ケア会議の関係について
第２層協議体の活動状況について
- ・生活支援コーディネーター連絡会
 - ５月２７日（木） 「お宝さがし」のモデル地区実施について
 - ９月１３日（月） 各地区の進捗状況について
「お宝さがし」のモデル地区実施について
 - １２月１４日（火） 活動状況の報告（今泉・富士見台）
令和３年度の進捗状況・第２層の設置状況について

※第１層生活支援コーディネーターとは、富士市域全域の福祉活動団体を組織化し、支援を必要としている人への働きかけや、助け合い組織立ち上げ支援、行政への働きかけ、施策提言をする者

(2) 地域包括ケア体制の構築に向けた地域支援

生活支援・介護予防に関する地域支援や地域住民主体の支え合い・助け合いが
ふれるまちづくりのため、※第2層生活支援コーディネーターと協働し各地区担当
職員も地域資源の育成・活動支援を行った。

- ・各地区地域ケア会議、個別ケア会議への参加

※第2層生活支援コーディネーターとは、小学校区を単位として、生活支援の
ニーズ把握や社会資源の把握、サービスの開発を地域住民と共に取り組む者

(3) 支えあいのまちづくり活動補助金の実施

地域住民による生活支援活動を支援し、地域共生社会を実現させるための取り組
みとして、支えあいのまちづくり活動補助金を創設し、地域住民による生活支援活
動の立ち上げに対する支援を実施した。

- ・支えあいのまちづくり活動補助金 1 件
富士見台くらし支えあいセンター（富士見台地区） 532,045円

【ボランティア活動育成事業】

(1) ボランティアセンター運営事業

ボランティアセンター利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年
開館日	28	27	29	28	28	27	30	27	27	27	27	29	334	335
利用者数	452	400	487	455	173	89	271	466	355	269	112	241	3770	1,992
1日平均	16.1	14.8	16.8	16.3	6.2	3.3	9.0	17.3	13.1	10.0	4.1	8.3	11.3	5.9

①ボランティアのニーズ調整

- ・ボランティア対応 延べ 125人
- ・個人登録者に対する情報発信 延べ 202人

②ボランティア保険

- ・加入者数 2,589人
- ・事故対応 2件

③富士市ボランティア連絡会

連絡会は、加入しているボランティアグループで組織し、情報交換をはじめ、ボ
ランティアに関する意見交換を実施した。

- ・奇数月第1金曜日 定例会開催
- ・偶数月最終金曜日 役員会開催

④ボランティア団体への助成

・ボランティア連絡会助成	40,000円
・災害ボランティア連絡会助成	200,000円

(2) 車いす移送車両運行事業

①移動支援

車いす使用者の通院・リハビリ、公的機関の手続き等にリフト付ワゴン車で送迎を行うサービスを実施した。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から6/1～30、8/10～10/10、1/25～3/31は活動を休止した。

・利用件数	99件
・走行距離	7,100km
・利用登録者数	29人
・移送ボランティア登録者数	46人
・延べ活動者数	250人

②車いす移送車両貸出

車いす使用者に対して、移送車両を貸出し、社会参加の促進を図った。

・貸出件数	108件
-------	------

③運転ボランティア研修会

車いす移送車両運行事業の説明及び交通安全講習・実技、新規ボランティア加入の依頼、ボランティア間の交流を深める目的で研修会を開催している。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、開催を中止した。

(3) 企業の地域貢献・社会貢献活動への協力

富士市内外の事業所による地域貢献・社会貢献活動の推進に対して連携及び協力を図るため、活動に係る連絡や調整を行った。

・対象企業及び事業所	5社
------------	----

(4) ふじおもちゃ図書館の運営

ハンディキャップのあるなしにかかわらず、おもちゃを通しての交流の場として開館している。令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、8/17～10/17、1/25～3/31を休館とした。

- ・開館日 火・木曜日 10:00～11:30
日曜日（障がい児のみ） 10:00～11:30
- ・定員 親子合わせて10名まで。事前予約制。
- ・協力団体 ふじおもちゃ図書館ボランティア 33人
- ・会場 ふじおもちゃ図書館（富士市フィランセ東館4階）

利用状況

単位：人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年同期
利用者数	42	62	47	75	32	0	24	63	64	75	0	0	484	334

＜貸館＞本来はふじおもちゃ図書館閉館時に、障がい児（者）及び子育てグループ等の団体に託児や交流のスペースとして貸館を行っているが、令和3年度については新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、休館とした。

（５）富士市災害ボランティア連絡会

災害時におけるボランティア活動がスムーズに行えることを目的に、災害ボランティア連絡会を組織し、定例会での情報交換をはじめ研修や災害ボランティア講習会を実施した。

- ・加入団体 12団体

富士市災害救援バイク隊『ペガサス』

富士市アマチュア無線非常通信協力会

災害ボランティアコーディネーター富士

静岡県市町村職員年金者連盟富士市支部

富士市ボランティア連絡会

静岡県看護協会富士地区支部

富士R B

富士市まとい会

家具やしめ隊

富士市赤十字奉仕団

ハルジオン

災害ボランティアコーディネーター富士川

- ・災害ボランティアセンター開設訓練（研修）

令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、開催を中止した。

(6) 災害ボランティアセンター支援に関する連携協定書の締結

自然災害発生時に災害ボランティアセンターを設置・運営する際に、人的・物的な支援を要請するための事前の取り決めを定めた連携協定書を締結した。

- ・ライオンズクラブ国際協会 334-C 地区 3R2Z 締結日 5月28日

富士吉原ライオンズクラブ
富士岳南ライオンズクラブ
富士タカオカライオンズクラブ
富士中央ライオンズクラブ
富士マウントライオンズクラブ

- ・富士地区労働者福祉協議会

締結日 10月19日

(7) 災害ボランティア活動用資機材の整備

災害時の迅速なボランティア活動を支援するため、活動資機材に関する覚書を締結するとともに、資機材及び保管倉庫を市内の社会福祉法人敷地に設置した。

- ・(福)岳陽会、市災害ボランティア連絡会、本会の3者で災害ボランティア活動用資機材と保管倉庫を(福)岳陽会敷地に設置するための覚書を締結し設置

締結日 6月16日

(8) 災害ボランティアセンターの開設

7月1日から大雨により、市内東部地区を中心に床上床下浸水が発生したことから、地元町内会ならびに市や関係機関と連携し、被災された方の困りごとに対応するため、7月6日から7月21日まで「富士市災害ボランティアセンター」を開設した。

- ・活動内容

①ニーズ調査：

チラシ配布等と共に、町内会役員、(福)美芳会職員及び社協職員とで浸水被害宅を中心に訪問し困りごとを把握。

②被災世帯へのボランティア活動

ニーズ 14件 (延べ支援回数 21回)

延べボランティア活動者数 100名

(内訳) 市内ボランティア団体等 10団体 95名

市内個人ボランティア 5名

(9) 災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定書の締結

自然災害発生時の災害ボランティアセンター設置とそれに伴うボランティア活動を円滑に実施するため、富士市と本会の果たすべき役割と協力事項等を定めた協定書を締結した。

・締結日 1月18日

(10) 家具固定ボランティア講座

団塊の世代を含め、企業、勤労者及び退職者等を対象に、特に、男性ボランティアが活動できる環境を創出するため、家具固定の方法を学び、ひとり暮らし高齢者や女性のみで構成された世帯等の支援を行うボランティアを養成する講座を開催している。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、開催を中止した。

(11) 音訳ボランティア養成講座

視覚障がい者の情報手段の拡充や自立と社会参加の支援をするための音訳に携わるボランティア新規加入と現在活動中ボランティアのスキルアップを図るために、講座を開催している。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、開催を中止した。

(12) 声の広報事業

ボランティアグループの協力により、月2回発行される「広報ふじ」やその他「警察だより」「中央病院、蒲原病院だより」「消防署だより」「市議会だより」「お元気ですか」「暮らしの情報」等をCDに吹き込み作成し視覚障がい者に郵送により情報提供した。

・利用者 23人

・協力団体 5団体（やまびこ5月号・20月号、すみれ、C3PO、秋桜）

(13) 託児ボランティア養成講座

託児ボランティアの基礎的なことや子どもたちとの楽しい遊び方、子どもの障がいや発達についての基本を学ぶ講座を開催している。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、開催を中止した。

(14) ボランティア活性化講座

ボランティア活動に興味があり、これからボランティア活動を始めようと考えている高校生を対象とし、実際に活動を行っている方からの話を聞き、ボランティア活動始めるきっかけづくりや、高校生同士の活動の輪を広げることを目的としてボランティア活性化講座を開催している。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、開催を中止した。

(15) 福祉教育の推進

①福祉人材育成事業

これからの福祉事業に携わる人材の定着及び確保を目指し、広く福祉に関する啓発を行うための福祉人材育成事業に取り組んだ。

<実行委員会>

- ・内 容 本会と市内の各関係機関との連携及び協働による事業計画立案のための実行委員会を設置し、実施内容の検討を行った。
- ・開催日 4月20日(火)、8月10日(火)、2月15日(火)
- ・委員数 10名

<研修会>

- ・開催日 3月15日(火) 13:30～15:30 (zoom開催)
- ・内 容 講義「主体的に働ける人材になろう！
ーセルフマネジメント・タイムマネジメントのコツを教えますー
- ・講 師 社労士オフィスろーど 代表 大道和哉 氏
- ・対象者 市内の福祉施設等に勤務する職員 15名

<企画委員会(サードプレイス)>

- ・開催日 5月11日、6月8日、7月13日、8月10日、9月14日、
10月12日、1月18日(いずれも火曜日)
- ・会 場 フィランセ東館3階ボランティアルーム
- ・内 容 プレ事業に向けての計画と実践
- ・アドバイザー 社労士オフィスろーど 代表 大道和哉 氏
- ・対象者 市内の福祉施設等に勤務する職員 16名

<プレ事業>

- ・開催日 ①11月9日(火) ②12月14日(火)
- ・会 場 フィランセ東館3階ボランティアルーム

・内 容 ①「青年の主張」

②「福祉従事者の知らない世界」

企画委員会（サードプレイス）が2グループに分かれ福祉の魅力を伝えるための発表会と仕事に対する活力醸成のためのグループワークを行った。

・参加者 市内の福祉施設等に勤務する職員

②夏休み福祉なんでも学習

夏休みの自由研究の課題や福祉全般についての学習のヒントとなる体験型学習会を実施した。令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、ZOOMによるオンライン開催とした。

・開催日 令和3年8月7日（土）9：00

・会 場 フィランセ東館3階ボランティアルームから配信（zoom）

・内 容 「手話を学ぼう」「パラスポーツ選手にインタビュー」

・参加者 15名

③福祉教育（体験、福祉講話）の実施

福祉教育を積極的に推進するため、学校単位・クラス単位および福祉施設において、体験学習や福祉に関する講話・相談等を行った。

・4校 市内小学校等にて

④福祉体験機材の貸出

福祉の心を育むための体験用として疑似体験機材を貸し出した。

	車いす	アイマスク	アイマスク・白杖	シニア	右マヒ	点字盤	ボッチャ	触感体験
個数	45	0	24	33	6	40	23	1
回数	12	0	2	4	2	3	13	1

内訳	学 校	8
	地 区	2
	施 設	11
	その他	19

⑤福祉図書コーナーの運営

フィランセ東館3階市民交流フロアに福祉図書コーナーを置き、図書等の貸出を行った。

・図書等の貸出

福祉図書 10冊 ビデオ・DVD 12件
CD 4件

・貸出利用券新規発行者数 9人

【福祉相談事業】

(1) 結婚相談

結婚相談員による結婚に関する相談及び交際の仲立ち（引き合わせ）を行った。

・開所日 毎週水曜日、毎月第1・第3土曜日、第2・第4日曜日

※緊急事態宣言に伴い、9月は休所とした。

・相談状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年
開催日数	8	7	9	8	5	0	8	7	7	7	7	9	82	91
相談件数	286	223	262	239	170	137	259	208	164	207	200	157	2,512	3,101

※9月の相談件数は電話対応の件数

・新規登録者数 74人（前年 86人）
・引き合わせ組数 112組（前年 127組）
・引き合わせ成立組数 64組（前年 80組）
・結婚成立件数 8組（前年 9組）

(2) 心配ごと相談

フィランセ東館1階事務局内にて相談員1名を配置。月曜日から金曜日まで、福祉・生活に関わる初期相談に応じ、直接来所できない方のためには電話相談（64－3294）を行った。さらに専門的な相談に対しては関係機関と連携を密にしながら対応した。

<相談状況>

相談件数 619件

<内訳> 来所相談 28件 電話相談 591件
その他 0件

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年
相談件数	45	47	63	41	43	66	62	40	48	57	52	55	619	532

相 談 内 容	件 数	前 年
福祉制度等の利用相談	0	0
福祉サービス等の利用相談	0	0
自立生活についての相談	2 6	2 7
家庭生活についての相談	1 1 2	3 8
教育に関する相談	1	0
就労に関する相談	7	1 0
医療・健康に関する相談	1 5	1 1
虐待に関する相談	7	3
その他	4 7 2	4 5 0
合 計	6 4 0	5 3 9

※重複回答あり

【援護事業】

（１）罹災世帯援護事業

火災に遭われた罹災世帯に対し見舞い金を支給した。

・ 全焼	4 件	1 2 0, 0 0 0 円
・ 半焼	1 件	2 0, 0 0 0 円

（２）緊急一時援護事業

低所得世帯等で、緊急に援助を要する世帯に対し、世帯の自立更生に繋がるよう5万円を限度に援護を行った。

・ 生活援護	2 件	3 8, 0 0 0 円
--------	-----	--------------

（３）児童援護事業

・ 低所得世帯小中学校入学支度費支給	1, 5 5 9, 0 0 0 円
・ 低所得世帯小中学校修学旅行支度費支給	2, 5 6 6, 0 0 0 円
・ 児童遊び場設置費助成	2 6 9, 0 0 0 円

< 児童福祉団体への助成 >

・ 子ども会世話人連絡協議会助成	3 0 0, 0 0 0 円
------------------	----------------

(4) 障害者援護事業

①福祉機器等リサイクル事業

高齢者などの在宅生活の支援、社会参加の促進、家庭介護の軽減を図ることを目的に、不用となった福祉機器やベビー用品を無償で提供していただける方と譲り受けた方とのリサイクル情報の橋渡しを行った。

- ・対 象 不用になった福祉機器やベビー用品を譲りたい方
不用になった福祉機器やベビー用品を必要とする方
- ・費 用 無料（運搬・修理に関する費用は譲り受ける方が負担）
- ・物 品 福祉機器・介護用品・ベビー用品
(直接身体に触れる物品は未使用のもの)
- ・実 績 譲ります情報 76件 求めます情報113件 成立 57件

②車いす短期貸出事業

病気やケガ及び旅行等、短期間(2週間)車いすを必要とする方へ貸出を行った。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年
貸出件数	20	27	28	24	16	8	17	26	23	16	23	30	258	229

③障がい者福祉団体への助成

- ・手をつなぐ育成会運営助成 300,000円
- ・身体障害者福祉会運営助成 200,000円
- ・視覚障害者福祉会運営助成 50,000円
- ・聴覚障害者協会運営助成 70,000円

(5) 高齢者援護事業

①家族介護者交流事業

在宅において、寝たきり高齢者や認知症高齢者を介護している方々の親睦を図るとともに、日頃の介護の疲れを癒すことを目的に開催している。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、開催を中止した。

②高齢者福祉団体への助成

- ・悠容クラブ連合会助成 200,000円
- ・認知症の人と家族の会助成 100,000円
- ・在宅介護者家族の会助成 50,000円

(6) 交通遺児援護事業

- ・交通遺児等育英奨学金支給 624,000円
- ・交通遺児等育英奨学生 進級祝 5,000円
- ・交通遺児等育英奨学生 卒業祝 30,000円

【共同募金運動】

（１）赤い羽根共同募金運動

この運動は、毎年多くのボランティアの方々に支えられ、令和３年度は次のとおり募金をいただいた。これらの募金は、民間社会福祉事業の充実向上、健康で安心して暮らせる福祉のまちづくりのための事業に活用されている。

- ・実施期間 １０月１日 ～ １２月３１日
- ・協力団体 町内会（区長会）、民生委員児童委員協議会、他諸団体

区 分	目 標 額	実 績 額
町内募金	１４，７００，０００円	１４，８４３，５３９円
篤志・法人募金	５，２００，０００円	３，４５５，５９８円
街頭募金他	１，２７４，０００円	１，５３３，８４３円
合 計	２１，１７４，０００円	１９，８３２，９８０円

（前年同期 ２０，２５２，５０６円）

（２）歳末たすけあい運動

この運動は、赤い羽根共同募金運動の一環として行われるもので、「つながりさえあうみんなの地域づくり」をスローガンに、低所得世帯等が安心して新年を迎えることができるよう配分を行った。

<配分結果>

- ・低所得世帯（生活保護世帯は除く）

５５９世帯	１，４８５人	８，８１２，０００円
ねたきり	１３人	認知症 ８人
重症心身障がい児（者）	５２人	両親のいない児童 １１人

- ・福祉施設利用者

施設	５カ所	里親	７世帯	計	７１人	４４４，０００円
合 計						９，２５６，０００円

<募金結果>

・会社職域関係	５１１，１６４円
・団体関係	７２７，１１８円
・学校関係	１５，１４４円
・個人	１５３，９１４円
・たすけあい袋	８，０４５，７１８円
合 計	９，４５３，０５８円

【ユニバーサル就労支援センター相談支援グループ運営事業】

フィランセ東館 1 階に生活課題を抱えた市民からの相談に早期かつ包括的に応ずるユニバーサル就労支援センター相談支援グループを(株)東海道シグマと共同事業体を設立し運営を行った。8 名の相談員を配置し相談者の抱えている課題を適切に評価・分析し、その結果を踏まえた「自立支援計画」を相談者本人と共に作成して、相談者の生活の立て直しに向けた支援を行った。また生活福祉資金貸付担当者と連携しながら相談を受け、必要な場合は適切に関係機関へのつなぎを行った。事業の周知に関して、チラシを配布し市民への情報提供を行った。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新規相談件数	179	127	135	136	146	138	128	113	89	88	104	131	1,514
プラン作成件数	33	18	30	18	28	21	20	35	14	35	19	25	296
就労支援対象者数	18	9	18	12	16	14	14	24	7	24	12	17	185

【貸付事業】

(1) 高額療養費等資金貸付事業

国保加入者で医療費の支払に困っている方に、高額療養費等資金の貸付を行った。

・貸付 1 3 3 件 1 3, 7 4 4, 4 3 8 円

<内 訳>

1. 高額療養費 7 7 件 1 2, 7 9 5, 4 0 5 円

2. 重度医療費 4 3 件 6 1 7, 1 6 0 円

3. ひとり親家庭等医療費 1 3 件 3 3 1, 8 7 3 円

(2) 生活福祉資金貸付事業

低所得世帯等の生活意欲を助長し、その自立更生を図ることを目的に県社協の審査を経て生活福祉資金等の貸付を行った。

・教育支援資金 8 件 4, 4 8 1, 0 0 0 円

・福祉資金（福祉費） 6 件 8 5 8, 3 1 3 円

・福祉資金（緊急小口資金） 1 件 1 0 0, 0 0 0 円

・総合支援資金（生活支援費） 0 件 0 円

合 計 1 5 件 5, 4 3 9, 3 1 3 円

新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、休業や失業により減収した方を対象に生活費の貸付を特例的に行った。

・緊急小口資金特例貸付 6 0 5 件 1 1 3, 5 0 0, 0 0 0 円

・総合支援資金特例貸付 6 9 8 件 2 9 7, 2 1 0, 0 0 0 円

合 計 1, 3 0 3 件 4 1 0, 7 1 0, 0 0 0 円

(3) 小口資金貸付事業

低所得世帯を対象に、一時的に必要な生活資金を5万円を限度に無利子にて貸付け、世帯の自立支援を行った。

・貸付 4件 132,000円

行政と連携し、新たに決定した生活保護世帯に対し生活保護費初回支給日までの生活費等の資金を5万円を限度に無利子にて貸付、切れ目のない支援を行った。

・貸付 40件 1,415,000円

【日常生活自立支援事業】

住み慣れた地域で安心して暮らせるように、福祉サービス利用の援助や日常生活に必要なお金の出し入れ、福祉サービスの利用料・公共料金などの支払いを支援した。専門員4名 生活支援員28名で対応。

- ・利用対象 認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等で、自身の判断能力に不安のある方
- ・援助内容 福祉サービスに関する情報提供、利用手続きの代行
日常的な金銭管理の支援、重要書類等の預かり

区 分	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計	前年
問合せ件数	694	464	442	420	2,020	1,594
初回相談件数	29	7	11	9	56	40
相談援助件数	1,775	2,078	1,872	428	6,153	5,731
現契約件数	12	26	17	7	62	63

【成年後見支援センター事業】

(1) 成年後見事業

認知症、知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が十分でない人が成年後見制度を的確に利用できるよう支援を行い、これらの人の権利を尊重し擁護することにより地域で安心して暮らせるよう、成年後見制度の利用促進を図ることを目的として相談援助を行った。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年
相談件数	33	19	19	18	25	19	14	32	28	36	16	27	286	242

<成年後見制度講演会・個別相談会>

- ・日 時 11月20日（土）9：30～11：00
- ・対象者 事前予約で受付した10組

（２）市民後見事業

<市民後見人の研鑽>

市民後見人候補者28名が日常生活自立支援事業生活支援員として活動を行いながら、身上保護及び財産管理の実際を通じて利用者支援に協力いただいた。

センターはその援助を行い候補者のサポートを行った。

<市民後見人名簿登録者継続研修>

市民後見人候補者へのフォローアップと資質の向上のための継続研修を開催。

年4回予定だったが開催の延期が続き、新型コロナウイルス感染拡大防止策のため、レポート研修として行った。

開催月：6月

内 容：コロナワクチン接種における医療同意の考え方について

<市民後見人受任調整会議>

名簿登録者の中から法人後見業務を担った7名の受任調整を実施した。

<市民後見人>

今年度新たに6名の市民後見人が選任された。

3月末で合わせて13名の市民後見人が活動している。

<監督人>

今年度新たに上記6名の後見監督人として社協が選任され、合計13名の監督人となった。

【法人後見事業】

<成年後見等審査委員会>

6回開催 6名の案件を協議した。

<法人後見受任>

家庭裁判所・行政と協議を行い、市民後見個人受任を見据えた6人を新たに法人後見として受任した。3月末時点で9件を受任している。

【介護サービス事業】

(1) 介護保険関連事業

①居宅介護支援事業

- ・利用者延べ人数 3,397 人
(事業対象者…264 人 要支援…987 人 要介護…2,146 人)
- ・利用者内訳 事業対象者…264 人(7.8%) 要支援 1 …374 人(11.0%)
要支援 2 … 613 人(18.0%) 要介護 1 …852 人(25.1%)
要介護 2 … 613 人(18.0%) 要介護 3 …361 人(10.6%)
要介護 4 … 205 人(6.1%) 要介護 5 …115 人(3.4%)
- ・介護認定調査 93 件(富士市…53 件、県内他市町…24 件、県外…16 件)

②訪問介護事業

- ・利用者訪問延べ回数 4,280 回
(事業対象者…159 回 要支援…971 回 要介護…3,150 回)
- ・利用者内訳 事業対象者…159 回(3.7%) 要支援 1 … 366 回(8.6%)
要支援 2 … 605 回(14.1%) 要介護 1 … 32 回(0.7%)
要介護 2 … 380 回(8.9%) 要介護 3 …1,211 回(28.3%)
要介護 4 … 162 回(3.8%) 要介護 5 …1,365 回(31.9%)

③通所介護事業(富士川デイサービスセンター)

- ・開所日数 308 日
- ・利用延べ人数 10,501 人
(事業対象者…510 人 要支援…413 人 要介護…9,578 人)
- ・利用者内訳 事業対象者…510 人(4.9%) 要支援 1 … 82 人(0.8%)
要支援 2 … 331 人(3.2%) 要介護 1 …3,815 人(36.3%)
要介護 2 …2,604 人(24.8%) 要介護 3 …1,306 人(12.4%)
要介護 4 …1,590 人(15.1%) 要介護 5 … 263 人(2.5%)

(2) 障害福祉サービス事業

①居宅介護

- ・利用者数 23 人
- ・延派遣回数 3,116 回
- ・延派遣時間数 3,820 時間 25 分

②同行援護

- ・利用者数 15 人
- ・延派遣回数 657 回
- ・延派遣時間数 1,361 時間 05 分

③移動支援

・利用者数	7 人		
・延派遣回数	233 回	・延派遣時間数	328 時間 05 分

(3) 介護入門研修事業

介護に関心を持つ介護未経験者に対し、介護の基本的知識や技術の習得を通じ、家庭や地域で介護の担い手として活躍できる人材の育成を行った。

・修了者	6 名
------	-----

(4) 高齢者地域支援窓口事業（富士駅北地区）

高齢者の身近な相談窓口として、10月から富士駅北地区の高齢者地域支援窓口を受託。来所者向けの相談窓口の設置、移動相談、家庭訪問、出前講座等を実施した。

・見守り件数	10 件	終了者	3 件
(入院1件、介護保険へ移行2件)			
・相談件数	29 件		
・移動相談	5 回	来所者	36 人
・出前講座	0 回	(コロナ感染予防の為)	

【障害サービス事業】

(1) 障害者就労支援施設等の運営

就労継続支援B型事業所9か所、生活介護事業所1か所を運営し、利用者に対し、生産活動や創作的活動の機会を提供するとともに、社会生活を営む上で必要となる支援を行った。

緊急事態宣言の発令などで、各種イベントの中止が相次ぎ、自主製品の販売機会は大幅に減少したが、各種団体などの協力もあり、売り上げについては、ある程度カバーすることができた。一方、下請け作業の方は、比較的堅調に推移した。結果として、9か所の就労継続B型事業所のうち、前年度の月平均工賃を上回ったところが4か所、下回ったところが5か所だった。

コロナ禍ではあったものの、利用者数の増加と出席率の安定が、給付費の増加につながった。

<就労継続支援B型事業所（9事業所）>

・利用者人数 156人 男性 88人 女性 68人
 ・平均年齢 約42歳 最年長 74歳 最年少 19歳

事業所名	開設年月日	利用者数	月平均工賃	主な自主製品等
吉原つくし	S55.4.7	21人	10,425円	手染め製品 名刺印刷
竹の子	S63.4.1	22人	11,242円	手作り石けん ビーズ製品
ひめな	H8.10.1	16人	14,576円	縫製品 苔玉
ふれあいショップ あゆみ	H1.10.1	7人	24,990円	手作りパン ラスク各種
ふじひろみ	S53.6.1	12人	12,805円	ぼかし・コサージュ ぷくぷく（入浴剤）
市民ふれあい バンク	S58.8.1	19人	20,830円	手作り石けん リサイクル品回収販売
鷹身工芸社	S59.8.1	21人	8,145円	トールペイント 花の苗作り・ぼかし
ふじばら作業所	H1.4.1	21人	11,308円	ふじ山キャンドル ぼかし・陶芸品
まつぼっくり	H13.4.1	17人	17,666円	手作り菓子各種 （クッキー等）

<生活介護事業所（1事業所）>

・利用者人数 19人 男性 10人 女性 9人
 ・平均年齢 約32歳 最年長 58歳 最年少 19歳

事業所名	開設年月日	利用者数	主な自主製品等
オリーブの丘	R2.4.1	19人	てすきカレンダー てすきしおり・ぽち袋

（2）職員研修

職員の資質向上を目的に、各所ごとで、また障害サービス室全体で、研修に取り組んだ。コロナ禍ゆえ、大人数とならないよう心がけた。

<主な研修>

- ①第1回事例検討会（8月）
- ②第2回事例検討会（10月）
- ③第3回事例検討会（1月）
- ④スマホ講座（11月）※利用者と一緒に受講

（３）特定相談支援事業

障害者就労支援施設等の利用者やその家族が、障害福祉サービスを適切に利用するため、サービス等利用計画の作成をはじめとした相談支援事業を実施した。

契約件数 241件

内訳 社協就労継続支援B型事業所・生活介護事業所利用者 164人
 その他（社協居宅介護利用者・他事業所利用者） 77人

【社会福祉センターの運営】

富士市からの指定管理者として社会福祉センター（広見荘、田子浦荘、東部市民プラザ、鷹岡市民プラザ）の管理を行い、高齢者をはじめ市民の健康増進や憩いの場として提供した。

利用状況

項 目	広見荘	田子浦荘	東部市民 プラザ	鷹岡市民 プラザ	合 計	前 年
高 齢 者	19,033人	15,706人	15,656人	11,956人	62,351人	46,640人
障がい者	215人	81人	8人	15人	319人	278人
児 童	52人	4人	0人	0人	56人	30人
そ の 他	98人	37人	21,169人	35,534人	56,838人	6,291人
合 計	19,398人	15,828人	36,833人	47,505人	119,564人	53,239人
開 館 日 数	248日	248日	272日	270日		233日
1日平均利用者数	78人	64人	135人	176人		229人

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、8月20日～9月30日まで社会福祉センターは全て臨時休館となった。東部市民プラザは5月17日～8月31日まで、鷹岡市民プラザでは6月2日～10月31日までワクチン接種の会場となったため、「その他」の人数が増えた。

【生きがいデイ・健康づくりデイサービス事業】

（１）生きがいデイサービス

在宅で閉じこもりがちな高齢者を対象に、自立生活の支援及び社会参加の促進を図ることを目的に生活指導・介護予防体操・レクリエーション等のサービスの提供を行った。

・実施場所	健康クラブ	（広見荘 毎週水・金）
	あったかクラブ	（鷹岡市民プラザ 毎週火・木）
	うららかクラブ	（富士川地域福祉センター 毎週月～土）
・開所日数	健康クラブ	98日
	あったかクラブ	98日
	うららかクラブ	272日
・延利用者数	健康クラブ	670人
	あったかクラブ	735人
	うららかクラブ	1,522人

※健康クラブ・あったかクラブについては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため8月20日から9月30日は休止とした。休止した分は生きがいデイサービスのみ令和4年3月まで振替が可能であったため、開所日数は健康づくりデイサービスよりも多くなった。

（２）健康づくりデイサービス

要支援状態等にある高齢者を対象として、自立生活の支援及び社会参加の促進を図ることを目的に、介護予防サービス計画または介護予防ケアマネジメントの内容に沿って、生活指導・介護予防体操・レクリエーション等のサービスの提供を行った。

・実施場所	健康クラブ	（広見荘 毎週水・金）
	あったかクラブ	（鷹岡市民プラザ 毎週火・木）
	うららかクラブ	（富士川地域福祉センター 毎週月～土）
・開所日数	健康クラブ	87日
	あったかクラブ	88日
	うららかクラブ	291日
・延利用者数	健康クラブ	65人
	あったかクラブ	85人
	うららかクラブ	1,077人

※健康クラブ・あったかクラブについては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため8月20日から9月30日は休止とした。

【その他の事業】

（１）実習受入

社会福祉向上と福祉教育の一環として、学生等を対象に福祉実習の受入を行った。

・実習受入数	40人
（内訳）保育実習（施設）	1人
看護実習	39人

（２）視察受入

当会の実施している諸事業について、概要説明を行い、施設見学の受入を行った。

・市公共施設見学受入	0件
------------	----

（３）富士市介護保険事業者連絡協議会の支援

介護保険事業者が相互の連携と、サービスの総合的な質の向上を行うことを目的に各種研修会を実施し、その事務局役割を担っている。

（４）人事評価制度の実施

すべての職員が業績評価及び能力評価シートを作成し、上司との面談をとおして適正な目標を設定し、モチベーションを高め、組織の活性化及び市民福祉の向上を目指した。

（５）社協職員人材育成計画の策定

本会の基本理念及び職員行動指針の実現を目指した職員研修体系及び人材育成計画の策定を目的として、令和2年度からの計画制定に向けた準備プロジェクトを経て、令和4年度から6年度までの職員育成計画を策定した。

（６）熱海市への被災地支援

7月1日からの大雨により大きな被害を受けた熱海市の被災地支援活動として、静岡県社協から県内市町社協を対象にした派遣要請を受け、本会からは職員延べ11名を派遣し、災害ボランティアセンターの運営を支援した。

・派遣期間	8月11日～9月25日
-------	-------------

（７）ＢＣＰ（事業継続計画）の検証

7月の富士市災害ボランティアセンター開設時には、ＢＣＰに従い、職員体制整備や物資調達等の各種調整を行った。また、災害ボランティアセンター閉所後、8月には市の関係課と一緒に発災から閉所までを振り返る会を開催した。

9月1日には、防災の日に合わせて、職員の安否確認訓練を実施し、BCPにおける初動対応時の情報集約について検証した。

【社協会費・寄附金の募集】

(1) 社協会費

6月を社協会員募集月間に定め、各世帯より普通会費、篤志家より特別会費、福祉団体及び福祉施設・福祉事業所より団体施設会費のご協力をいただいた。

- ・協力団体（敬称略） 町内会（区長会）、民生委員児童委員協議会、他諸団体
- ・実施状況

区 分	金 額	実績額
普通会費	各世帯 300円	24,104,120円
特別会費	個人・企業・法人 1,000円以上	4,552,200円
団体施設会費	福祉施設・団体 1,000円以上	343,000円
合 計		28,999,320円

（前年同期 28,986,500円）

(2) 寄附金

社会福祉協議会への寄附者は、下記のとおりです。

① 一般寄附

(敬称略・単位 円)

月	氏 名	金 額	月	氏 名	金 額
4	宗清倶楽部杯 チャリティーゴルフ	17,600	10	川口晴美	10,000
	匿名	38,825		匿名	3,000
	匿名	300,000		匿名	346,652
	株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000		株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000
	匿名	9,000		匿名	10,000
5	株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000	11	匿名	87,520
6	匿名	10,000		興亜工業株式会社 代表取締役社長 井上淳	100,000
	匿名	1,000		宗清倶楽部杯 チャリティーゴルフ	12,700
	匿名	1,000		株式会社日立物流中部	105,000
	匿名	30,000		株式会社日立物流	105,000
	匿名	6,000		富士マンドリンクラブ	36,700
	匿名	3,000		蓮心寺 青山泰謙	49,916
	株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000		富士市農業協同組合	235,000
7	蓮心寺 青山泰謙	5,000		匿名	100,620
	匿名	2,701		株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000
	株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000	12	匿名	9,000
8	ADEKA労働組合	20,000		NPO法人楽しいことやら座	30,000
	匿名	5,000		匿名	30,000
	杉山勝	200,000		匿名	30,000
	匿名	30,000		宮武重之・宮武由野	5,000
	株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000		匿名	500,000
	匿名	4,060		匿名	5,000
9	匿名	30,000		諏訪部弘	20,150
	株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000		匿名	20,000

月	氏 名	金 額	月	氏 名	金 額
12	匿名	200,000	2	富士希更山の会	300,000
	株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000		株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000
1	匿名	30,000		匿名	100,000
	匿名	4,605	3	宮武重之・宮武由野	3,000
	田子浦親交会	101,590		妙祥寺 住職 遠藤文祥	5,000
	中央静岡 ヤクルト販売株式会社	101,591		一般社団法人岳南法人会	500,000
	学校法人旭学園 富士調理技術専門学校	13,943		富士市建設業組合	100,000
	匿名	20,000		株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000
	株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000			

65 件
4,164,173 円

②社協各事業への指定寄附

(敬称略・単位 円)

月	氏 名	金 額	月	氏 名	金 額
5	静岡トヨタ自動車株式会社 代表取締役 太田勝之	31,000	12	まる二 殿岡正美	7,560
	富士・富士宮遊技業組合	151,800	1	広見ダンス会	31,242
8	大丸松坂屋百貨店 労働組合静岡支部	70,829	3	富士市福祉事業協力会	1,000,000
	富士吉原ライオンズクラブ	300,000		匿名	2,000
10	まる二 殿岡正美	3,500		大丸松坂屋百貨店 労働組合静岡支部	57,450
11	興亜工業株式会社 代表取締役社長 井上淳	100,000			

11 件
1,755,381 円

③交通遺児援護基金指定寄附

(敬称略・単位 円)

月	氏 名	金 額	月	氏 名	金 額
4	大石恵美	5,000	9	大石恵美	5,000
5	大石恵美	5,000	10	大石恵美	5,000
6	富士地区貨物運送事業協同 組合理事長 吉野正則	300,000	11	大石恵美	5,000
	一般社団法人静岡県トラック 協会富士支部 富士運輸会	189,000	12	大石恵美	5,000
	大石恵美	5,000	1	大石恵美	5,000
7	大石恵美	5,000	2	大石恵美	5,000
8	大石恵美	5,000	3	大石恵美	5,000

14 件

549,000 円

④くらし・子ども支援基金指定寄附

(敬称略・単位 円)

月	氏 名	金 額	月	氏 名	金 額
11	興亜工業株式会社 代表取締役社長 井上淳	100,000	3	富士北地区 民生委員児童委員協議会	30,000
12	伊達達弘	100,000			

3 件

230,000 円